新日軽

取付説明書番号 ME-1161

改－2

機能門柱 グランビア 取付説明書

●この度は、新日軽商品をご採用いただき誠にありがとうございます。
商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この取付説明書をよくお読みの上、作業を行なってください。
●本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
施工にあたっては必ずお守りください。
●施工は専門業者が行なってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
●電気工事は電気工事士の資格が必要です。電気工事が必要な場合は、必ず電気工事店に依頼してください。
●この取付説明書は施工後必ず施主様へお渡しください。

◎設置場所・設置位置について

●基礎は指定寸法以上にしてください。
●地下埋設物（給排水管など）に影響を及ぼさないように柱位置をきめてください。

◎施工時の注意事項 施工にあたっては次の点をご注意ください。

●モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。
●モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
●アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
●腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
●埋め込み柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。
●モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようご注意ください。
●施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
●寒冷地はその地域にあった基礎工事を行ってください。
●地盤が軟弱な場合は、柱の埋込み深さ、フーチングの大きさを考慮してください。
●養生期間は十分（4日～1週間）にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
●改造・変更をしないでください。

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。	❗	「必ず行っていただくこと」を示しています。

⚠注意
●本体を揺すったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。
●ポスト付きの場合は、ポストの上には乗らないでください。
●ポストの投函口にむやみに手や棒を差し込まないでください。
●投函物を取り出す場合は、手や指に注意してください。

❗ **施工上のご注意**
●結線は、必ず電気工事店様が行なってください。
●照明とインターホンをどちらも取付ける場合は、隔壁となる配管を設けてください。
●配線はあらかじめ2m位立ち上げて置いてください。
●インターホン子機と親機は同一メーカーを使用してください。（子機はJIS1個用スイッチボックス対応品）

もくじ

梱包明細……1
納まり図……2
1．配線の立ち上げ……3
2．ヒンジ・戸当りストッパーの取付け（※門扉を吊り込む場合）……3
3．インターホンの取付け……4
4．表札の取付け……4
5．照明の取付け……5
6．フットライトブラケットの取付け……6
7．ポスト取出し口扉の勝手変更および開錠・施錠……7
7－1ポスト取出し口扉の勝手変更……7
7－2ポストの開錠方法……7
7－3ポストの施錠方法……7
7－4開錠番号の変更方法……8
施工工事店様、販売店様へのお願い……8

梱包明細

●施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無いか確認してください。
●取付説明書に記載している部材・部品（ビス含）以外は使用しないでください。

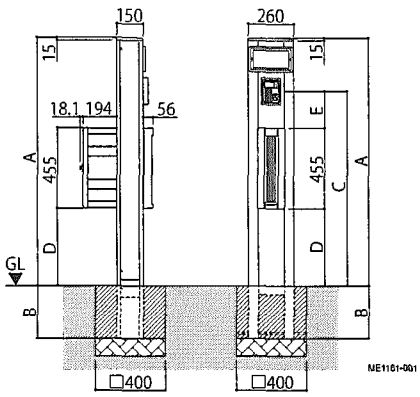
梱包名称		梱包内容 ※表内の（ ）は個数を表しています。
機能門柱本体		本体（1）・アンカー棒（2）・φ4×20皿タッピン3種（2） 取付説明書 [ME-1161]（1）・取付説明書 [ME-1162](1)※1
別売品	ヒンジ台座セット	ヒンジブラケット（2）・アルミブラケット（2）・M8×16六角ボルト（4）・M8用バネ座金（4） M5×16トラス小ネジ（8）・M5用平座金（8）・M5用バネ座金（8）
	戸当りストッパー	戸当りストッパー（1）・アルミブラケット（1）・M8×16六角ボルト（2）・M8用バネ座金（2）
	フットライト取付金具	フットライトブラケット（1）・φ4×12トラスタッピン3種（2）
	サインプレイツ（シール付）	表札（1）・表札シール（1）・φ4×25皿セルフドリリングビス（2）

※1：H1700（照明付）の場合に梱包されています。

納まり図

●施工前に必ず確認してください。
●地盤が軟弱な場合は、基礎の深さ、フーチングの大きさを考慮してください。
●柱基礎には必ず割りぐり石を敷き、十分につきかためてください。

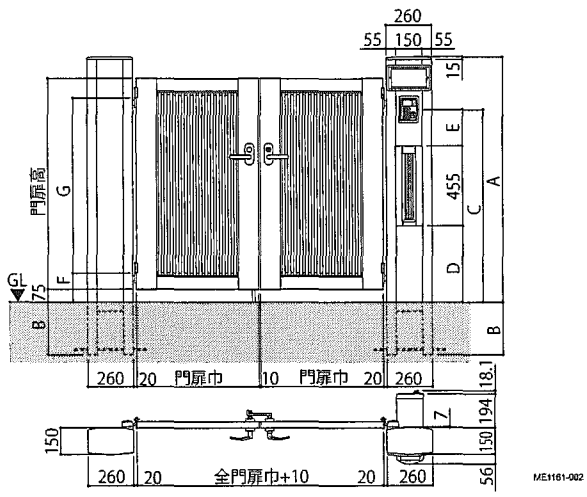
独立納まり



●寸法一覧表 (mm)

呼称サイズ	A	B	C	D	E
H1400	1400	300	1100	437.5	207.5
H1600	1600	300	1200	637.5	107.5
H1700	1700	300	1200	637.5	107.5

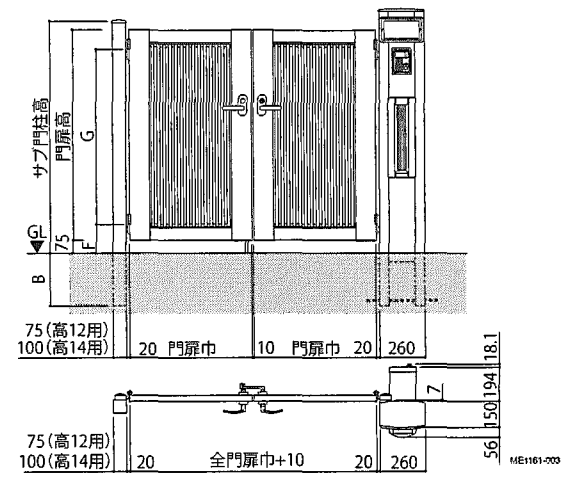
機能門柱＋機能門柱 両開き納まり



●寸法一覧表 (mm)

呼称サイズ	門扉高	A	B	C	D	E	F	G
H1400	1000	1400	300	1100	437.5	207.5	165	800
	1200	1400	300	1100	437.5	207.5	165 <245>	1000 <800>
H1600	1200	1600	300	1200	637.5	107.5	165	1000
	1400	1600	300	1200	637.5	107.5	165	1200
H1700	1200	1700	300	1200	637.5	107.5	165	1000
	1400	1700	300	1200	637.5	107.5	165	1200

機能門柱＋サブ門柱 両開き納まり

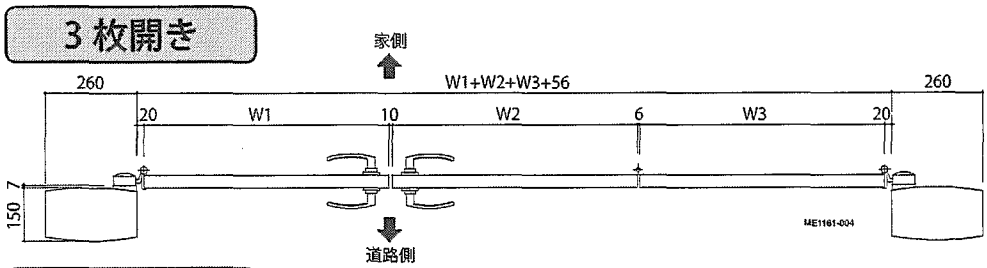


●寸法一覧表 (mm)

呼称サイズ	サブ門柱高	門扉高	F	G
75角 サブ門柱	1125	1000	165	800
	1325	1200	165<245>	1000<800>
100角 サブ門柱	1525	1400	165	1200

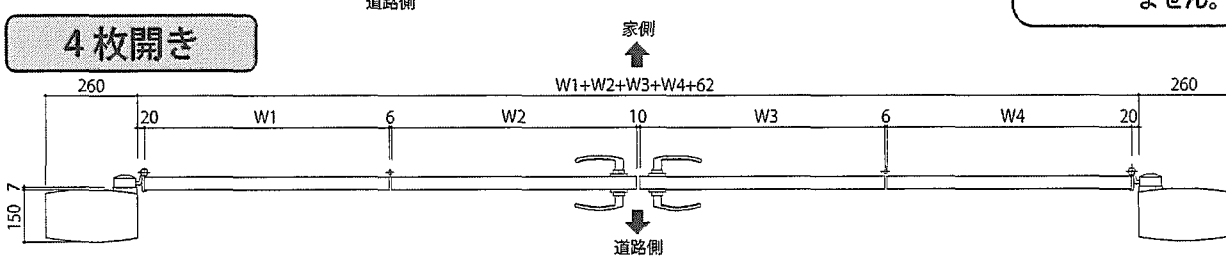
注1. 基礎寸法は、独立納まりと同じです。注2. 表中の＜＞内寸法は、鋳物門扉 H1200 を取付ける場合を示しています。注3.H1400 は、形材門扉 H1000・H1200、および鋳物門扉 H1200 を取付けることができます。注4.H1600・H1700 は、形材門扉 H1200・H1400 を取付けることができます。

3枚開き



●片側がサブ門柱の場合は、3・4枚開きはできません。
●鋳物門扉の場合は、3・4枚開きはできません。

4枚開き

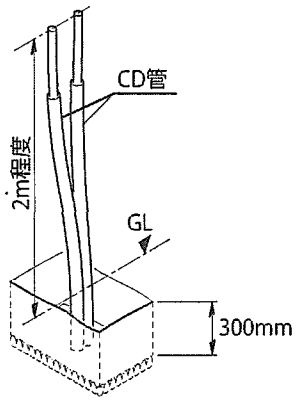


1 配線の立ち上げ

①照明用とインターホン用の配線をそれぞれ G.L. より 2m 程度立ち上げておいてください。

照明とインターホンをどちらも取付ける場合は、隔壁となる配管を設けてください。

フットライトを取付ける場合は、照明・インターホン用と反対側に、専用スペースを設けて配線してください。
※配線長さは G.L. より 50cm を目安に立ち上げてください。

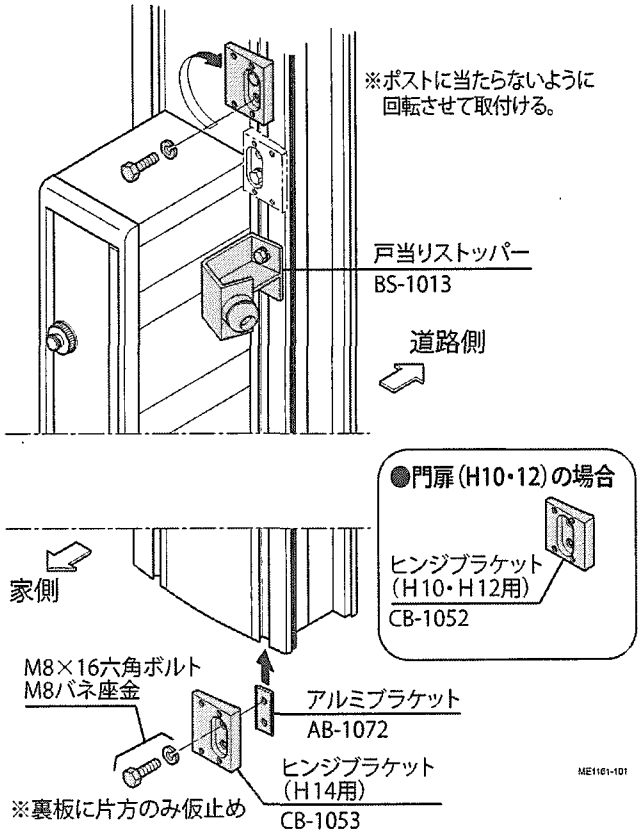


2 ヒンジ・戸当りストッパーの取付け
(※門扉を吊り込む場合)

①柱の埋め込み前に、ヒンジブラケットと戸当りストッパーを、柱下部よりスライドして、柱に仮止めしてください。

- ●ヒンジブラケット（門扉：H14 用）は、裏板の片側にボルトを仮止めして、180° 回転させてスライドしてください。
- ●同様に、ヒンジブラケット（門扉：H10・12 用）は、90° 回転させてスライドしてください。

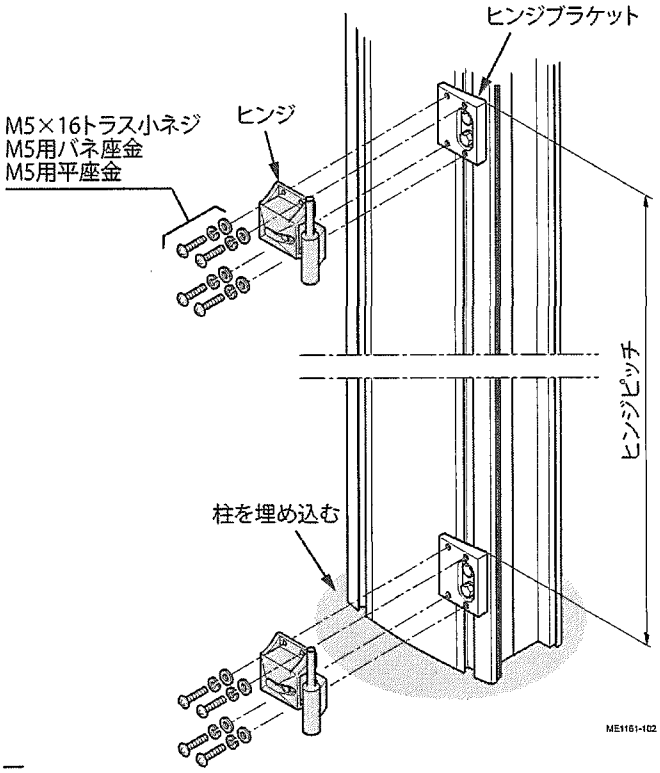
※ポストに当たらないようにしてください。



②「納まり図」で寸法を確認し、柱を埋め込んでください。
③ヒンジピッチに合わせて、ヒンジブラケットを本締めしてください。
④ヒンジをヒンジブラケットに取付けてください。

「ヒンジ台座セット」と同梱のビス・座金類を使用して取付けてください。

「門扉の吊り込み」および「ヒンジの調整方法」については、ヒンジセット内の取付説明書を参照してください。



3 インターホンの取付け

①道路側からみて、「左側」の配線カバーを柱から外してください。

●標準では、道路側から見て「左側」が配線スペースとなります。
●フットライトを「左側」に取付ける場合は、「右側」にインターホン用配線を通してください。
※配線カバー（左）・（右）の取外しについては、次ページの「5. 照明の取付け」を参照してください。

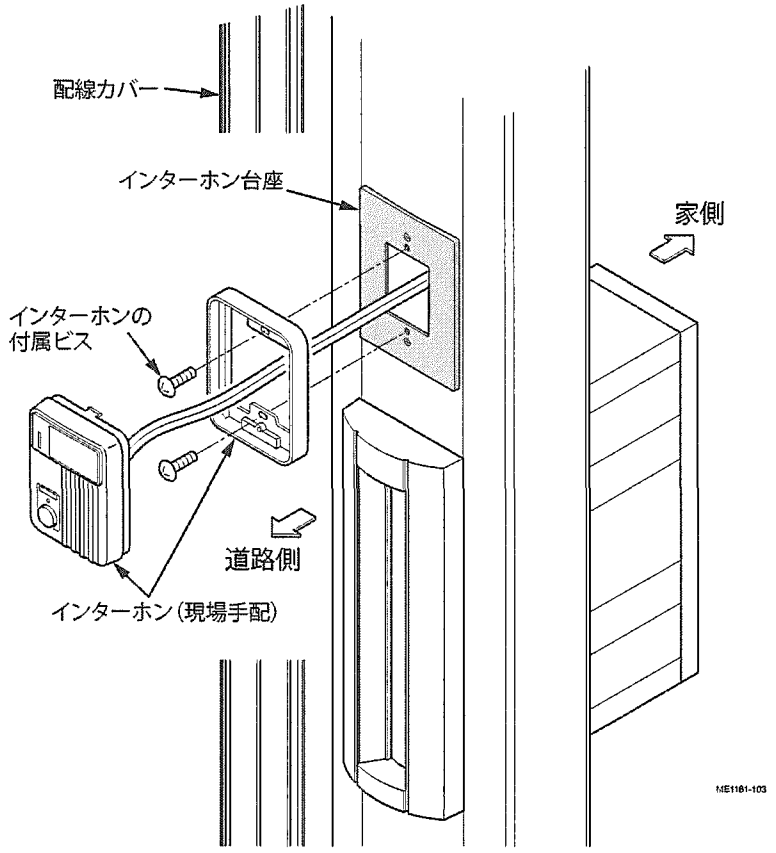
②インターホンケースおよびインターホン本体を、インターホン台座に取付けてください。

③結線後、インターホン本体を取付けてください

余った配線は柱内部に押し込んでください。

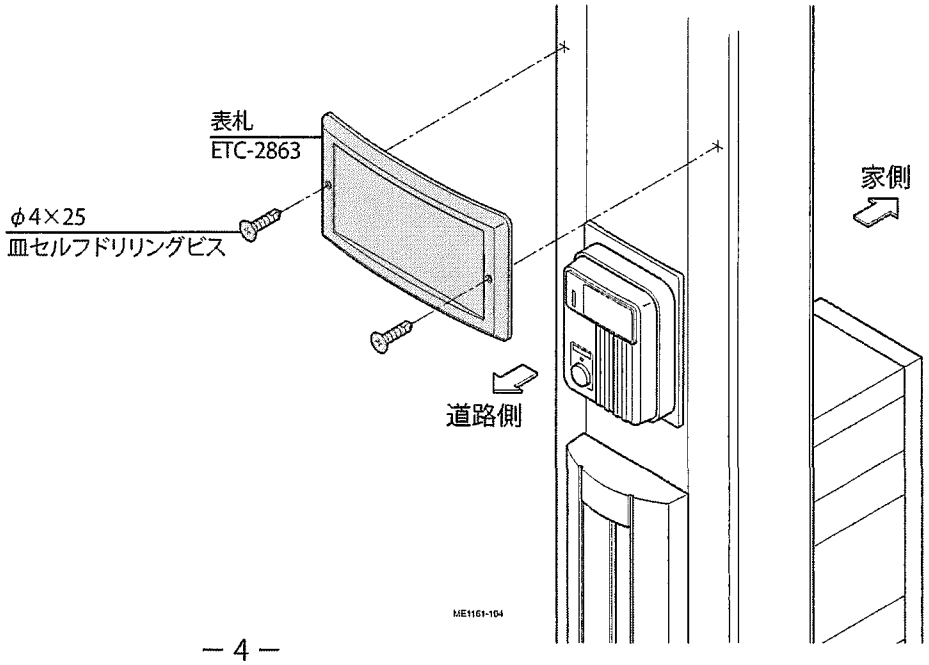
結線は必ず電気工事店様が行なってください。

④再度、配線カバーを取付けてください。



4 表札の取付け

①表札を柱に取付けてください。



5 照明の取付け

●「照明・インターホン」と「フットライト」は、同じスペースに配線できません。
●道路側から見て「左側」に「フットライト」を取付ける場合は、「照明・インターホン」は「右側」のスペースに配線してください。

①道路側からみて、「左側」の配線カバーを柱から外してください。

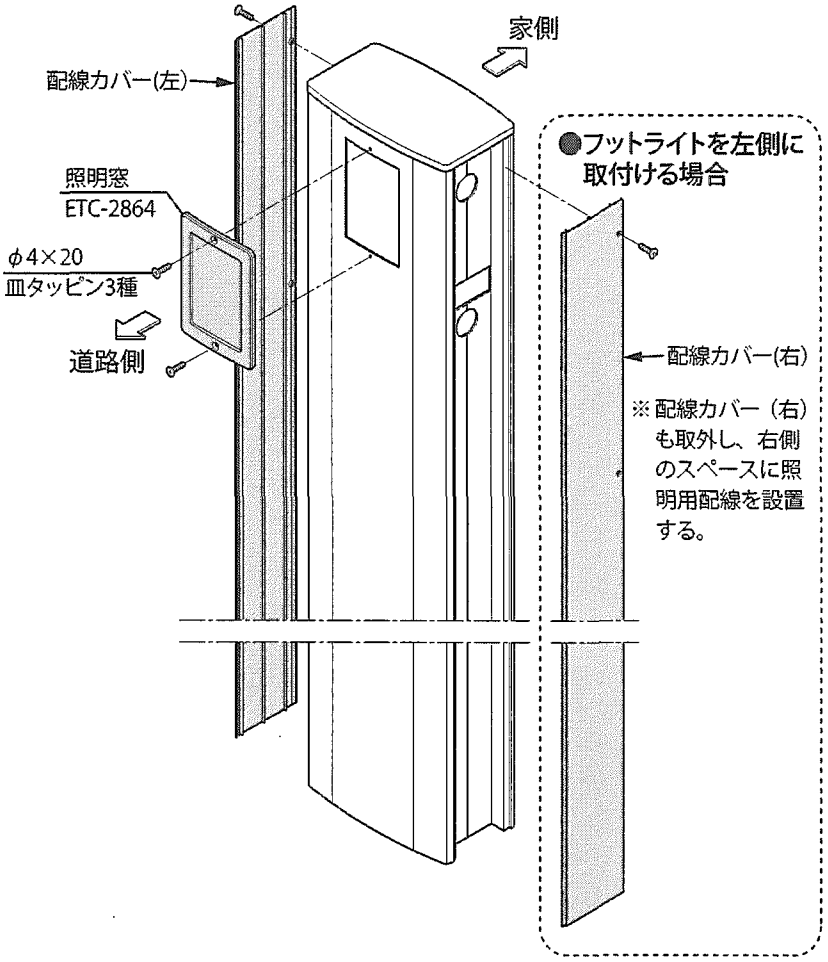
> 標準では、道路側から見て「左側」が配線スペースとなります。

②結線後、配線カバーを取付けてください。

> 余った配線は柱内部に押し込んでください。

> 結線は必ず電気工事店様が行なってください。

> 照明の結線方法については、取付説明書 [ME-1162] を参照してください。



ME1161-105

フットライトを「左側」に取付ける場合

> 両側の配線カバーを外し、照明用の配線を「右側」に入れ替えてください。
> ※下記の手順を参照してください。

①左右の照明取付ビスを外してください。

> 照明ユニットが落下しないように、照明窓より、照明を手で持ちながら行なってください。

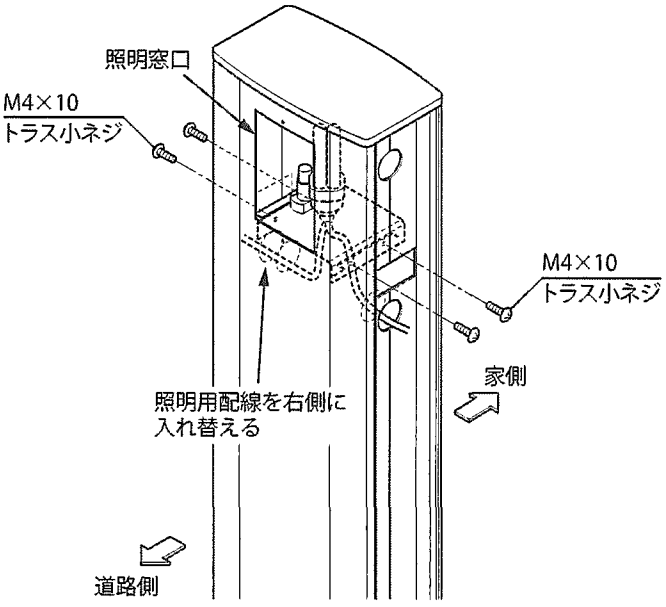
②蛍光灯を外して上に持ち上げ、照明用配線を反対側に入れ替えてください。

③蛍光灯と照明器具を元に戻し、結線してください。

> 余った配線は柱内部に押し込んでください。

> 結線は必ず電気工事店様が行なってください。

④照明窓と配線カバーを取付けてください。



ME1161-106

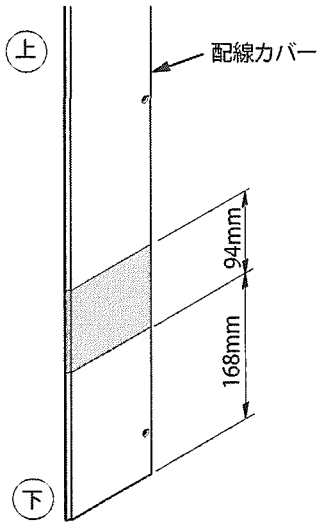
6 フットライトブラケットの取付け

①道路側から見て「右側」の配線カバーを外してください。

> **標準では、道路側から見て「右側」が配線スペースとなります。**
> ※配線カバーの取外しについては、前ページの「5.照明の取付け」を参照してください。

②右図を参照し、配線カバーを切断してください。

●配線カバーの切断



③配線をフットライトブラケットに通してください。

④フットライトブラケットを柱に取付けてください。

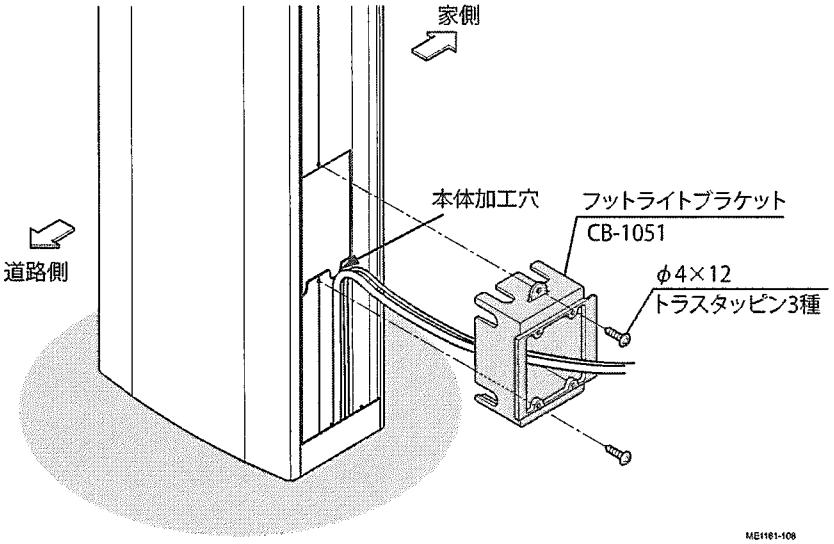
> **本体加工穴を使用して、配線を柱とフットブラケットで挟まないようにしてください。**
> ※配線が挟まれると、断線など思わぬ事故の原因となります。

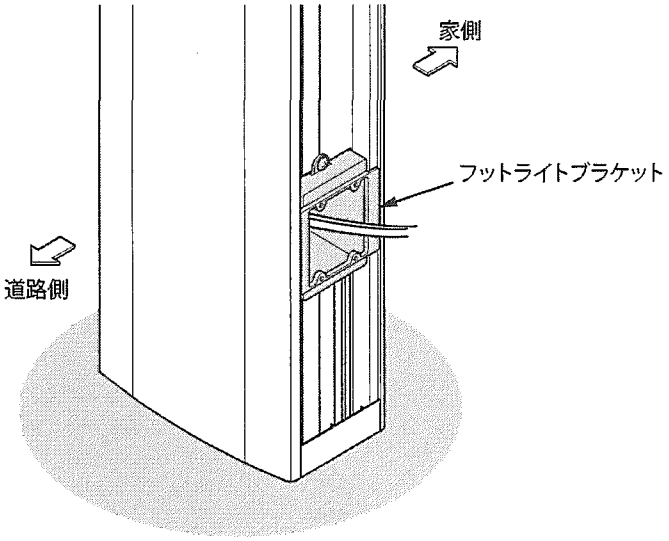
⑤結線後、再度、配線カバーを取付けてください。

> **余った配線は柱内部に押し込んでください。**

> **結線は必ず電気工事店様が行なってください。**

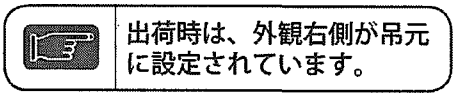
> **フットライトの取付方法については、フットライトに付属の取付説明書を参照してください。**





7 ポスト取出し口扉の勝手変更および開錠・施錠

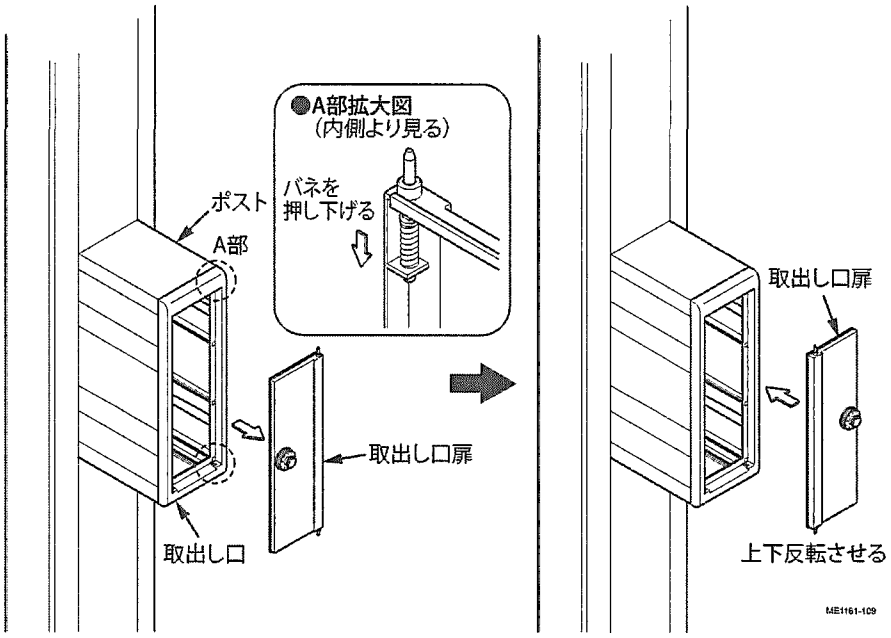
7－1 ポスト取出し口扉の勝手変更



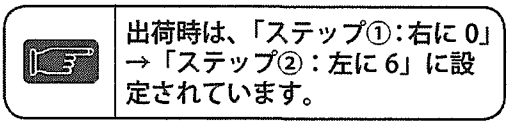
出荷時は、外観右側が吊元に設定されています。

①上下いずれかのヒンジのツメを矢印の方向に移動させ、ポスト取出し口扉をポスト本体から取外してください。

②ポスト取出し口扉を上下反転させて、再度、本体に取付けてください。



7－2 ポストの開錠方法

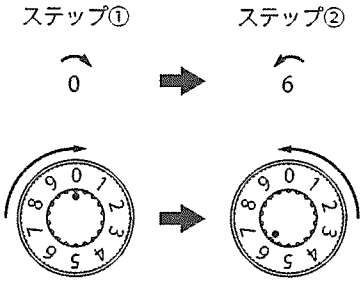


出荷時は、「ステップ①：右に 0」→「ステップ②：左に 6」に設定されています。

①つまみを右に２回以上回して、リセットしてください。

②つまみを右回り（時計回り）に回し、[0] に合わせてください。

③つまみを左回り（反時計回り）に回し、[6] に合わせて開錠してください。



7－3 ポストの施錠方法

①ポスト取出し口扉を閉めて、つまみを回して施錠してください。

7－4 開錠番号の変更方法

●現場にて開錠番号を変更することができます。
●開錠番号の組合せは、「開錠番号一覧表」を参照してください。
※一覧表以外の組合せにすることはできません。

①ダイヤル錠を開錠し、ポスト取出し口扉を開けてください。

②ポストに付属の調整具をダイヤル錠の下面より差し込み、ポスト内側に倒してください。（ダイヤル合わせ目印キャップが浮き上がります。）

③キャップを浮かせた状態のまま、キャップを回転させて、ダイヤル合わせ目印を「ステップ②：左回り）」の番号に合わせて下さい。（設定が変更されます。）

「ステップ①：右回り」の番号に合わせる必要はありません。
※番号については、開錠番号一覧表を参照ください。

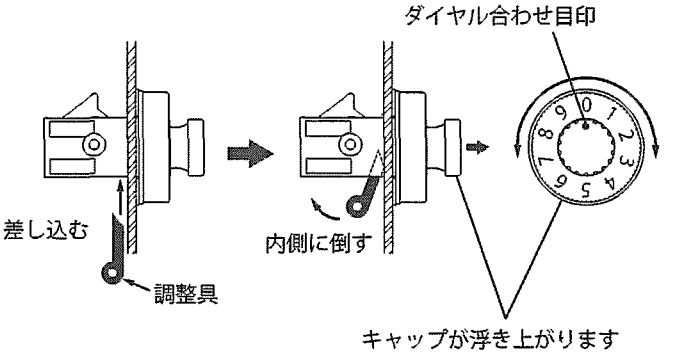
④調整具を抜きキャップを元の状態に戻してください。

付属のシールに変更後の開錠番号を記入してわかりやすい場所に貼付けておくと便利です。
※開錠番号が不明の際の責任は負いかねます。ご了承ください。

調整具は、取付説明書と一緒に大切に保管してください。

●開錠番号一覧表 (mm)

ステップ①：右回り		ステップ②：左回り
0		6
1		7
2		8
3		9
4	➡	0
5		1
6		2
7		3
8		4
9		5



ME1161-111

施工工事店様、販売店様へのお願い

●「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
●この取付説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

施工完了日	年　月　日
施工工事店	TEL（　）　-
販売店	TEL（　）　-
商品名	
その他	